

仙台版防災教育実践ガイド

(改訂版)



平成 23 年度



平成 24 年度



平成 25 年度



平成 26 年度



平成 27 年度



平成 28 年度



平成 29 年度



平成 30 年度



平成 31 年度



令和 4 年度

令和 5 年 3 月
仙台市教育委員会

目 次

はじめに	1
1 仙台版防災教育の基本的な考え方	2
2 仙台版防災教育の全体像	3
3 「仙台版防災教育実践ガイド」の内容	4
4 仙台版防災教育 全体計画について	4
5 仙台版防災教育における指導事項について	5
仙台版防災教育における指導事項	6
6 仙台版防災教育 各学年の年間指導計画作成の手順	8
7 仙台版防災教育 年間指導計画に位置付ける事項	9
8 仙台版防災教育 年間指導計画モデル	9
9 仙台版防災教育 授業の実施手順	26
授業づくりのアドバイス	27
(参考) 学級活動「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び 健康安全」の学習過程(例)	28

【参考資料】

- 1 仙台市立七郷小学校「防災安全科」
- 2 仙台版防災教育研究推進取組発表校実践発表資料から(平成28～令和3年度)
- 3 単元配列表モデル
- 4 復興ソング
- 5 防災を含む安全に関する教育のイメージ
- 6 学習指導要領に基づいた各教科等における防災教育の内容と主な留意事項
- 7 「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」の活用
- 8 防災教育に関する資料 リンク集

はじめに

甚大な被害を及ぼした東日本大震災から 12 年が経過しました。私たちは、この震災を通して、防災教育の重要性と必要性を改めて認識させられました。そこで、本市の防災教育では、震災以降、児童生徒の自助の力と共助の力の育成に取り組んできました。

平成 24 年度には、全校に防災主任を配置するとともに、防災教育モデル校 18 校を中心として、全市的に「新たな防災教育」への取組を開始しました。平成 25 年度には、防災教育副読本「3.11 から未来へ」を市内小中学校の全児童生徒に配付しました。また同年、仙台市立七郷小学校が文部科学省から研究開発学校の指定を受け、平成 28 年度までの 4 年間、新領域「防災安全科」の研究を進めました。平成 26 年度には、仙台市で開催された国連防災世界会議の場において、本市の防災教育の取組を広く内外へ発信しました。平成 27 年度からは、研究推進取組発表校を指定し、令和 3 年度までにすべての市立小・中学校が、自校の取組について実践発表を行いました。さらに、平成 28 年度には、それまでの「新たな防災教育」から名称を「仙台版防災教育」と改め、各校の児童生徒の発達の段階に応じたより系統的な防災教育を推進することができるよう「仙台版防災教育実践ガイド」を作成し、学校・地域の実態に応じた防災教育を実施してまいりました。

「安心を創る 仙台版防災教育」は、「杜の都の学校教育」における重点取組事項の一つであり、震災の教訓や記憶の風化の防止を踏まえつつ、児童生徒の育成に目指す資質・能力を明確にした防災教育年間指導計画を作成し、実践、検証していくことが重要です。

このたび、「仙台版防災教育実践ガイド」を新たに改訂いたしました。今回の改訂版では、年間指導計画モデル及び単元配列表モデル等を更新し、現在使用している教科書及び仙台版防災教育副読本「3.11 から未来へ」との関連を図るとともに、「学習指導要領に基づいた各教科等における防災教育の内容と主な留意事項」を新たに追加いたしました。

各学校におかれましては、「仙台版防災教育実践ガイド（改訂版）」及び「仙台版防災教育実践ガイド（授業実践例）」を参考にしながら、本市防災教育の充実に向け、一層の工夫・改善に努めていただきますようお願いいたします。

令和 5 年 3 月

仙台市教育委員会

教育長 福田 洋之

1 仙台版防災教育の基本的な考え方

- (1) 仙台版防災教育は、震災の教訓を生かし、平常時から災害に備え、災害時に自分の命を守り、安全を確保する自助の力、そして、平常時から他の人や地域の力となり、災害時の対応や地域の復興に協力し参画する共助の力を児童生徒に育むことを目指しています。
- (2) 児童生徒に身に付けさせる防災対応力は、平常時における「防災」と、災害時における「災害対応」の双方の力を意味するものです。両者は不可分なものであり、二つの視点を踏まえて、「自助の力」「共助の力」の育成を図ります。

	平常時における 【防 災】	災害時（災害発生時と災害後）における 【災害対応】
自助	災害に備える	自分の命を守り、安全を確保する
共助	他の人や地域の力となる	共に協力し活動に参画する

- (3) 防災対応力を育むために、学校、地域の特性及び児童生徒の発達の段階を踏まえ、各教科・領域等（以下「各教科等」）の防災に関わる指導内容を「教科等横断的な視点」で相互に関連付けた年間指導計画を作成し、教育活動を展開、効果を検証します。
- (4) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、防災教育を通して育成を目指す資質・能力を「知識及び技能の習得」、「思考力、判断力、表現力等の育成」、「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に基づき総合的に整理し、それらがバランスよく実現できるようにします。

「知識及び技能の習得」

災害発生のメカニズムや地域に起こりうる災害について理解し、災害時に危険を予測し安全を確保することができるようにするとともに日常的な備えができるようにすることを目指します。

「思考力・判断力・表現力等の育成」

災害における危険を認識し、適切な意思決定や行動選択等、的確な思考・判断ができるようにすることを目指します。

「学びに向かう力、人間性等の涵養」

平常時から、思いやりや感謝の心を醸成し、進んで他の人や地域と関わり、助け合い、支え合うことを通して、災害発生時などに人として取るべき行動の根底となる心や態度を育むことを目指します。また、震災の教訓と記憶の風化の防止を踏まえた取組に努めます。

- (5) 防災対応力の基盤的となる構成要素は「知識」・「技能」・「態度」の三つです。児童生徒が主体性を持って取り組むことができるようにねらいを焦点化して取り組むことが大切です。

2 仙台版防災教育の全体像

防災対応力の育成

【自助の力】 平常時から災害に備え、災害時に冷静に判断し、自らの命を守り、臨機応変に自らの安全を確保できる力

【共助の力】 平常時から進んで他の人や地域の力となり、災害時の対応や地域に協力し活動に参加できる力

平常時における「防災」＋災害時における「災害対応」

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
災害発生メカニズムや地域に起こりうる災害について理解し、災害時に危険を予測し安全を確保することができるようにするとともに日常的な備えができるようにする。	災害における危険を認識し、適切な意思決定や行動選択等、的確な思考・判断ができるようにする。	平常時から、思いやりや感謝の心を醸成し、進んで他の人や地域と関わり、助け合い、支え合うことを通して、災害発生時などに人として取るべき行動の根底となる心や態度を育む。

【知識】

防災や災害に関する基礎的・周辺の内容

- ・ 災害の種類や特徴、発生メカニズムや被害
- ・ 過去の災害や伝承
- ・ 自然環境や気象
- ・ 災害防止や復旧・復興
- ・ 建物の安全や耐震
- ・ 仙台市や地域の特性と災害の発生
- ・ 学校や家庭、地域での備え
- ・ その他

【技能】

防災や災害に関する直接的な内容

- ・ 危険の予測や安全のための判断
- ・ 身の守り方や避難の仕方
- ・ 初歩的な応急救護措置やAED等の操作
- ・ 生き抜く知恵と技能
- ・ 情報を生かす方法
- ・ 避難所設営補助
- ・ 防災用具の基本的な操作
- ・ その他

【態度】

防災や災害に関する間接的な内容

- ・ 強い心と冷静な行動
- ・ 感謝や思いやりの心
- ・ 自然愛護と生命尊重
- ・ 他者との関わり
- ・ 被災者の支援
- ・ 教訓の伝承
- ・ 夢や目標をもつ心
- ・ 家庭や地域に役立つこと
- ・ その他

各教科

道徳科

総合的な学習の時間

特別活動

家庭・地域・関係機関との連携・協力・情報交換

3 「仙台版防災教育実践ガイド」の内容

「仙台版防災教育実践ガイド」は、「改訂版」と「授業実践例」の2冊構成となっています。

「改訂版」には、仙台版防災教育の基本的な考え方や児童生徒の発達の段階に応じて、体系的・系統的な防災教育を実施するための指導事項や年間指導計画、授業の実施手順などが掲載されています。また、参考資料として、仙台市立七郷小学校「防災安全科」や仙台版防災教育研究推進取組発表校の実践事例や「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」の見学等に関する資料も掲載されています。

「授業実践例」には、「仙台版防災教育において年間指導計画に位置付ける事項（P9 参照）」を取り上げた授業実践例が掲載されています。

「改訂版」「授業実践例」ともに、各学校が防災教育の年間指導計画を作成したり、防災教育に関する授業を実施したりする際に参考にできる内容となっています。

4 仙台版防災教育 全体計画について

仙台版防災教育の全体計画作成に当たっては、次の内容に留意してください。

- 「杜の都の学校教育」で示している仙台版防災教育の全体像に合致しているか。
- 児童生徒の実態、地域の特性等に触れられているか。
- 各教科等との関連について記載しているか。
- 仙台版防災教育副読本の活用について記載しているか。
- 防災対応力の構成要素である「知識」「技能」「態度」に関して記載しているか。

5 仙台版防災教育における指導事項について

仙台版防災教育における指導事項（P 6・P 7）は、研究開発学校として文部科学省の研究指定（H25～H28）を受けた仙台市立七郷小学校の「防災安全科」の「内容の構成と項目」を基に整理しました。

指導事項は、学習指導要領や学習指導要領解説に記載されている防災に関する内容等を、下記のA～Fの六つに分類しています。

- A 災害等の理解に関すること
- B 危険から命を守る方法に関すること
- C 日常の備えに関すること
- D 危険予測・判断に関すること
- E 支援者の基盤に関すること
- F 社会貢献に関すること

A, B, C, Dは主に自助, E, Fは主に共助に関わります。また、六つの内容を20項目に細分化しています。

児童生徒の発達の段階等に応じた指導の目標を設定したり、防災に関する指導を行う学年や教科等を確認したりする際に活用してください。

仙台版防災教育における指導事項

分類	小学校 1～2年	小学校 3～4年	
A 災害等の理解 【知識】	(1) 災害の種類や特徴	地震や津波、大雨や強風、雷などについて知る。 (生活、特活)	地震や津波、大雨や強風、雷などの特徴を理解する。 (理科、総合)
	(2) 発生メカニズムや被害	地震や津波、大雨や強風、雷などによる危険について知る。 (生活、特活)	地震や津波、大雨や強風、雷などによる被害を理解する。 (理科、総合)
	(3) 過去の災害・伝承	地域に起こった災害を知る。 (生活)	地域に伝わる災害の伝承、地域で起きた災害の被害の様子を知る。 (社会、道徳、総合)
	(4) 災害防止や復旧・復興（公助）	地域の人々が協力して防災に取り組んでいること、地域の災害復旧・復興に関する取組を知る。 (生活)	関係機関による災害復旧や復興、防災の取組を理解する。 (社会)
B 命を守る方法 【知識】 【技能】	(1) 身の守り方や避難の仕方	危険から身を守る方法や避難の仕方、助けを呼ぶ方法を知る。 (体育、特活)	災害等に対応した身の守り方や避難の仕方、119番通報の仕方を理解する。 (体育、特活)
	(2) 情報を生かす方法	家族の連絡先や住所や電話番号などの伝え方を知る。 (国語、特活)	家族と連絡を取り合う方法を理解する。 (特活)
	(3) 応急手当の方法	軽いけがのときは傷口を水洗いすることを知る。 (特活)	軽いけがのときの止血方法、AEDの設置場所を知る。 (体育)
	(4) 生き抜く知恵と技能	水・電気・ガスの大切さを知る。 (生活)	ライフラインと自分たちの生活とのつながりを理解する。 (社会)
C 備え 【知識】 【技能】	(1) 家庭での備え	災害時の家庭内での約束事や役割分担などを理解する。 (生活)	家庭での設備や物資、食料に関する備えを調べ、大切さを理解する。 (総合)
	(2) 学校や地域での備え（公助）	地域の避難場所や「こども110番の家・店」などを知る。 (生活)	学校の備蓄や地域にある防災に役立つ設備について調べ、災害時への備えを理解する。 (社会)
D 予測・判断 【技能】	(1) 危険の予測	通学路での災害等の危険を考える。 (生活、特活)	学校や家庭、地域での災害等の危険を考える。 (社会)
	(2) 安全のための判断	通学路での災害等の危険を避けるためにどのように行動するかを考える。 (生活、特活)	学校や家庭、地域での災害等の危険を避けるためにどのように行動するかを自分で考える。 (特活)
E 支援者の基盤 【態度】	(1) 強い心と冷静な行動	どんなときでも頑張る心を持ち、大人の指示をよく聞いて行動しようとする。 (道徳)	困ったときにも投げ出さない心を持ち、周りの様子や指示に応じて行動しようとする。 (道徳)
	(2) 感謝や思いやりの心	地域の防災や安全のために見守ってくれる人たちに感謝の気持ちを持ち、友達や周りの人に親切にしようとする。 (生活、道徳)	お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを持ち、友達や下級生に対して親切にしようとする。 (道徳)
	(3) 自然愛護と生命尊重	自然の不思議や美しさを感じ取ろうとするとともに、生き物に優しくしようとする。 (生活、道徳)	自然の美しさやすばらしさを感じ取ろうとするとともに、命あるものを大切にしようとする。 (理科、道徳)
	(4) 他者との関わり	自分の思いを相手に伝え、友達や近所の人たちと関わろうとする。 (生活、特活)	互いに思いを伝え合い、地域の行事などに参加して周りの人とつながろうとする。 (特活)
F 社会貢献 【態度】	(1) 被災者の支援	人の役に立ちたいという気持ちを持って行動しようとする。 (道徳、特活)	ボランティア活動について知り、自分たちにできることを考えようとする。 (道徳、総合)
	(2) 教訓の伝承	学校で学んだ防災のことを家族に伝えようとする。 (国語)	学校で学んだ防災のことを家族や地域に伝えようとする。 (国語、社会、特活)
	(3) 家庭や地域に役立つこと	身の回りの人のために役立とうとする。 (道徳)	家庭のために役立とうとする。 (道徳)
	(4) 夢や希望	ルールや決まりを守り、安全に生活しようとする。 (道徳)	防災の意識を持って安全・安心な生活をしようとする。 (社会、道徳)

※ () は関連が考えられる教科等です。

小学校5～6年	中学校	分類
災害の種類や特性、災害の原因（自然と社会）を理解する。 (社会, 理科)	国土及び地域の自然環境と人々の生活や産業との関係を理解し、起こり得る自然災害を予想する。 (社会, 数学)	(1) 災害の種類や特徴
災害の発生メカニズムを理解する。(5年で気象, 6年で地震と津波) (理科)	科学的な知識を生かして、自然現象と災害を関連付けて状況を判断する。 (数学, 理科)	(2) 発生メカニズムや被害
東日本大震災や過去の災害の被害の様子、伝承を理解する。 (社会, 理科)	日本の気象がもたらす恵みと災害について記録や資料を用いて調べ、自然と人間との関わりについて考察する。 (国語, 社会, 理科)	(3) 過去の災害・伝承
国や自治体による災害復旧や復興、防災に関する取組を理解する。 (社会)	国や自治体の取組について成果と課題を知り、地域に応じた防災対策の在り方を考える。 (社会, 理科)	(4) 災害防止や復旧・復興（公助）
災害等やその場の状況に応じた身の守り方や避難の仕方を理解する。 (体育, 特活)	自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じることを理解し、対応と備えを理解する。 (保健体育)	(1) 身の守り方や避難の仕方
災害時の心の変化と行動、災害時に必要な情報と入手の仕方を理解する。 (社会, 理科)	災害心理を理解し、正しい情報入手とその信頼性の吟味の方法を理解する。 (技術)	(2) 情報を生かす方法
出血や打撲をしたときの簡単な手当の仕方、AEDの機能を理解する。 (体育)	心肺蘇生、AEDの使用方法などの応急手当や負傷者搬送の方法を理解し、緊急時に判断して行動できるようにする。 (保健体育)	(3) 応急手当の方法
ライフラインが止まったときの対処法を理解する。 (家庭)	迅速で的確な情報提供のための観測装置や通信網、より安全性の高い建築物の設計・開発など、地震に備える科学技術について知る。 (理科)	(4) 生き抜く知恵と技能
家庭での設備や物資、食料に関する備えを調べ、工夫や必要性を理解する。 (家庭, 特活)	家の中や周囲の安全性、物資等の備え、家族の安否確認の方法などについて日常的に家族で話し合い点検を行う必要性を理解する。(家庭, 特活, 総合)	(1) 家庭での備え
学校の備蓄や地域にある防災に役立つ設備を調べ、工夫や災害時への備えを理解する。 (社会)	公所における、被害の軽減や災害後の生活に備える「減災」の視点を理解する。(社会, 特活, 総合)	(2) 学校や地域での備え（公助）
場所や時刻など、様々な状況を想定して危険を予測する。 (特活, 総合)	災害時に起こり得る危険を状況に応じて具体的に予測し、安全確保の手順や優先順位を整理する。 (特活, 総合)	(1) 危険の予測
場所や時刻など、様々な状況による危険を避けるためにどのように行動するかを自分で判断する。 (特活, 総合)		(2) 安全のための判断
困難に直面しても負けない強い心を持ち、状況に応じて落ち着いて行動しようとする。 (道徳, 特活)	困難に直面しても負けない強い心を持ち、冷静な判断の基、目的の実現に向けて行動しようとする。 (道徳)	(1) 強い心と冷静な行動
お世話になっている方々に感謝の気持ちを持ち、困っている人に対して親切にしようとする。 (道徳)	周囲の方々の善意により、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、自己と他者の絆を深めようとする。 (道徳)	(2) 感謝や思いやりの心
畏敬の念を持って自然の力を感じようとするともに、命を見つめ、自他の生命を尊重しようとする。 (理科, 道徳)	自然に対する畏敬の念を深めるとともに、生命の連続性や有限性を理解し、かけがえのない全ての生命を尊重しようとする。 (道徳)	(3) 自然愛護と生命尊重
互いの良さを認めながらコミュニケーションを取り、地域の行事などに参加してつながりを持とうとする。 (道徳, 特活)	中学生が地域の力として期待されていることを自覚し、地域で行われている様々な活動への参加を通して、共助の体制を築こうとする。 (道徳, 特活)	(4) 他者との関わり
他地域で災害が起きたとき、被災した人たちのために自分たちができることを考えて、支援しようとする。 (図工, 特活, 総合)	災害が起こった地域の方々のために、被災経験やその後の学びを生かして、支援しようとする。 (美術, 英語, 特活, 総合)	(1) 被災者の支援
学校で学んだ防災のことを教訓として伝えようとする。 (国語, 音楽, 道徳, 特活, 総合)	震災やその後の復興過程の記憶や記録から、語り継ぐべき情報や思いを取り出し、自分たちの言葉で語り継いでいこうとする。 (音楽, 特活, 総合)	(2) 教訓の伝承
地域のために役立つようとする。 (道徳, 特活, 総合)	非日常の中でも自他の命を守り、地域社会の一員として他者との関わりや地域社会との関わりを積極的に持とうとする。 (道徳, 特活, 総合)	(3) 家庭や地域に役立つこと
防災を通して自分の生き方やこれからの社会に夢や希望を持って生きていこうとする。 (社会, 道徳, 総合)	人生の目標を達成すべく、希望を持って、より良く生きようとする。 (道徳, 特活, 総合)	(4) 夢や希望

6 仙台版防災教育 各学年の年間指導計画作成の手順

防災対応力は、教科等横断的な視点で育成していくものです。そのため、学校・地域の実態に応じて、各教科等の防災にかかわる指導事項を相互に関連付けた自校の年間指導計画の作成が求められます。

作成の手順は、次のとおりです。

ステップ1 学校・家庭・地域等の実態を把握する

学区内の地理、自然等の環境を把握するとともに、地域の教育資源等を押さえます。

また、協働型学校評価の過程で収集した情報や各種調査等の結果などから、〈児童生徒〉〈家庭〉〈地域〉の実態や課題、児童生徒に育成を目指す資質・能力について、防災教育の観点から整理します。

ステップ2 防災教育のねらいを明確にする

実態把握の結果を踏まえ、学校として防災教育のねらいを明確にします。そのねらいを踏まえ、P6・P7の「防災教育における指導事項」に基づき、重点的に指導する必要性のある指導事項を選択します。

ステップ3 指導事項について指導を行う学年や教科等を検討する

ステップ1・2を踏まえ、実際にどのような指導事項について、どの学年やどんな教科等で指導するか、P6・P7の「防災教育における指導事項」等を参照しながら検討します。その際、一つの指導事項に対して、複数の教科等が想定されている場合があることに留意してください。

学習指導要領や同解説に指導内容として記載されている指導事項については、当然、その教科において指導を行うこととなります。学習指導要領や同解説に、指導内容の例示が記載されていない指導事項は、関連する内容を指導できる教科等について検討します。

ステップ4 教科等間、学校行事等との関連を考慮して指導事項の配列を検討する

ステップ3で、指導事項としてリストアップしたものについて、教科等間、学校行事等との関連などを考慮し、指導事項の配列を考えます。指導事項をすべて網羅的に配列しようとせず、学校の実態に応じて、重点化、焦点化し、教科等間のつながりを意識して指導計画を作成することが大切です。

ステップ5 防災教育の年間指導計画を作成する

ステップ1～4までの検討の結果を、年間指導計画の書式で表現します。書式に決まりはありませんが、教育指導課で提示している様式（C4th 書庫からダウンロード可）等を参考に、柔軟で実効性のある計画を作成してください。

作成上のワンポイントアドバイス

- ステップ1～5について、いったん学年等の小単位で行い、学年カリキュラムを作成した後、学年間の関係や指導時期等を整理し、学校全体の年間指導計画を作成するという方法が考えられます。
- 各学年の年間指導計画を構想する際に、単元配列表等（P66～P69 参照）を活用する方法もあります。

7 仙台版防災教育 年間指導計画に位置付ける事項

東日本大震災の教訓を生かした防災対応力の育成を図るため、特に次の事項について、各学年の年間指導計画に適宜位置付けることとします。

- 1 学区内の地理，気象条件等，環境や実態に応じた防災に関する活動の実施
- 2 仙台版防災教育副読本の活用
- 3 東日本大震災の体験者からの講話等，震災の教訓と記憶の風化の防止を踏まえた取組
- 4 学区内等の学校同士や保護者，地域との合同による防災訓練の実施
- 5 復興ソングの継承

なお，これらの事項を取り上げた授業実践例を「仙台版防災教育実践ガイド 授業実践例」に示しましたので参考にしてください。

8 仙台版防災教育 年間指導計画モデル

年間指導計画は，「作成の手順」で示したとおり，学校の実態に応じて，防災教育のねらいを明確にして作成します。作成に当たっては，児童生徒の実態について職員間で情報交換を進める中で課題を共有することや，教科や教材，指導法等の検討を行うことを通して，職員間の意識を共有することが大切です。また，このことが，指導の効果を高めることにもつながります。

各学校の自然環境及び想定される災害等に違いがあるため，このガイドでは，仙台市内の「津波による災害等が想定される地域」・「建物の倒壊による災害等が想定される地域」・「土砂災害等が想定される地域」・「洪水による災害等が想定される地域」等，それぞれの災害を想定した，四つの地域における小学校低・中・高学年及び中学校の年間指導計画モデルを例示しましたので参考にしてください。

【仙台版防災教育 年間指導計画モデル】

- 津波による災害等が想定される地域の小学校低・中・高学年及び中学校の年間指導計画モデル
- 建物の倒壊による災害等が想定される地域の小学校低・中・高学年及び中学校の年間指導計画モデル
- 土砂災害等が想定される地域の小学校低・中・高学年及び中学校の年間指導計画モデル
- 洪水による災害が想定される地域の小学校低・中・高学年及び中学校の年間指導計画モデル

想定される自然災害等の例

- ・大地震 ・大津波 ・大雨 ・増水 ・河川洪水 ・土砂災害 ・暴風
- ・たつ巻 ・落雷 ・降ひょう ・大雪 ・なだれ 等

派生して発生する災害等の例

- ・建物の火災 ・森林火災 ・液状化 ・地割れ ・倒木 ・建物の倒壊
- ・危険物の落下，散乱 ・交通網のまひ ・道路の寸断 ・ガス漏れ
- ・感染症の流行 ・異常発生（植物，動物，昆虫等） 等

なお，防災に関連する教科・単元を全て網羅するのではなく，重点的に取り組む指導事項を精選し，教科等間，学校行事等との関連を考慮して配列することや，全職員が「この指導事項は，この学年で重点的に行う」という意識を共有することが肝要です。

津波による災害等が想定される地域の 小学校低学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能	態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容	防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	生 活	特 活	道徳科	
4	交通安全教室 避難訓練（避難経路 確認）		・【1年】学校 をたんけんし よう（生活） E（4）	・登下校の安全D（1） ・避難経路の 確認D（1） ・非常時下校 体制の確認C （1）	大地震 大津波	
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練		・【2年】まち たんけんC （2）	・あの日3.11 ☆A（3）		・家族とのさい 会☆E（3）
6	12日 宮城県民防災の日 避難訓練			★じしんがお こったらどう するの☆B （1）		・ながいながい つうがくるE （3）
7	故郷復興プロジェクト② 引き渡し訓練	・水遊び、着衣水泳 （体育）B（1）	・家のまわり 学校のまわり ☆D（1）		・夏休みの 生活 B（1）	
8	（地域行事への参加）					
9	1日 防災の日 校外学習（動物園）			・ぼうさいリ ュックを用い しよう☆C （1）		・動物たちのい のち☆E（3）
10	地域合同防災訓練			・ぼうさいく んれんにさん かしよう ☆B（1）C （1）		・【2年】いま ぼくにできる ことE（2）・F （1）
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③		・ふっこうを めざして（生 活）☆A（4）	・つなみにつ いてしろう☆ A（1）（2）		・【2年】じぶ んがしんごう きE（2）
12	避難訓練（火災） 集団下校訓練	火災		・ひなんの仕 方を考えよう ☆B（1）（2）	・冬休みの 生活 B（1）	・【1年】おう だんはどうで E（2）
1	17日 防災とボランティアの日				・きぼうの 光☆A （3）（4）	
2					★ふるさと を元気に☆ A（1）F（3）	・【1年】いの ちがあつてよ かったE（3）
3	11日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④			・ぼうさい知 しきをチェッ クしよう☆C （1）		

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

津波による災害等が想定される地域の 小学校中学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活		道徳科	
4	春の交通安全	・【3年】学校のまわり(社会)C(2)	大地震, 津波	・避難経路の確認, 登下校の安全 B(1)			
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練 家庭訪問	・【3年】市の様子(社会)D(1) ・【4年】住みよいくらしをつくる(社会)B(4)	大地震, 津波	・避難の仕方を考えよう B(1)☆			・考えよう 友達たちのこと☆E(2)
6	12日 宮城県民防災の日 避難訓練 引き渡し訓練	・【4年】雨水のゆくえと地面のようす(理科)A(1) ・地しんについて知ろう☆A(1)(2)	・防災マップづくり 大地震, 津波	・避難訓練事後指導 ・災害が起きたら☆B(1)			・希望の詩～「ない」～☆F(2)
7	故郷復興プロジェクト② 交通安全教室	・【3年】風やゴムで動かそう(理科)A(1) ・浮く・泳ぐ運動(体育)B(1)	津波, 大雨, 増水, 河川 洪水, 浸水, 落雷, 暴風	★歌い継ごう～ 「復興ソング」 ☆F(2)		・夏休みの過ごし方 D(1)(2)	・【4年】「もっこ」をせおってF(1) ・大切なこと☆E(2)
8	(地域行事への参加)					・地域行事への参加	
9	1日 防災の日 避難訓練(不審者)	・着衣水泳(体育)B(1) ・いろいろなさいがいについて知ろう☆A(1)(2)		・自分で決める☆ ★「台風・大雨の災害から命を守る」☆D(2)			・【3年】一さつのおくりものE(2)
10	中学校区合同防災訓練		★命を守る 非常食☆C (1)(2)	・家族ぼうさい会ぎをひらこう☆C(1)			・【4年】ふるさとを守った大イチョウE(3)
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③	・【4年】自然災害からくらしを守る(社会)A(4)		・せかいとのつながり☆			・【3年】教えて!なんでもそうだん室F(1)
12	避難訓練(火災) 集団下校訓練	・けがをしたときは☆B(3)		津波, 大雨, 増水, 河川 洪水, 浸水, 落雷, 暴風	・避難訓練事後指導	・冬休みの過ごし方 D(1)(2)	
1	17日 防災とボランティアの日		・たかさんのおうえん☆				
2		・【3年】市のうっぴりかわり(社会)A(3)		・ぼうさい知しきをチェックしよう☆		・つたえようわたしたちのことばで☆	・【3年】おじいちゃん, おばあちゃん, 見ていてねE(3) ・【4年】ポロといっしょE(2)
3	11日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④	・【4年】特色ある地いきと人々のくらし(社会)A(4)		・仙台のさいがい年びょう・ふっこう年びょう☆			・【4年】点字メニューにちょうせんF(1)

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

津波による災害等が想定される地域の 小学校高学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活	道徳科		
4	避難訓練（地震） 春の交通安全	・【6年】物の燃え方と空気（理科）A (1)	火災	・避難経路の確認、登下校の安全B (1)	大地震 大津波	・【6年】うちらねこの手ボランティアF (1)	
5	故郷復興プロジェクト① 引き渡し訓練 家庭訪問		大地震、大津波	・非常時下校体制の確認、 ★大災害に備えよう☆B (1)	・大きな災害と人間の心の動き☆E (4)		
6	1 2 日 宮城県民防災の日 全校一斉防災学習 野外活動	★防災人としての知恵（体育）～けがの手当～☆B (3)		★語り継ごう東日本大震災☆F (2)※震災遺構活用	大地震 大津波	・家族防災会議を開こう☆C (1)	・【6年】土石流の中で救われた命E (2)
7	故郷復興プロジェクト② P T A 等との地区 巡視	・着衣水泳（体育）B (1) ・「希望の道」合唱F (2)		・チャレンジ子供防災モニター☆D (1)	・わが家の防災カードの記入C (1)	・夏休みの生活D (1) (2)	
8	(地域行事への参加)		大雨、増水、河川洪水 浸水、落雷、暴風				
9	1 日 防災の日	・【5年】台風と天気の変化（理科）A (2)		・地震を乗り越えようとした先人の知恵☆F (2)		・一番大切なことは☆F (3)	
10	大雨、増水 河川洪水	・【5年】流れる水のはたらき（理科）A (1) (2) ・【6年】大地のつくりと変化（理科）☆A (2) E (3)	大地震 大津波 液状化	・「復興のために何ができるか考えよう」E (4) F (1) (3)		・【5年】わたしのボランティア体験F (1) (3)	
11	5 日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③ 避難訓練（火災） ※津波防災の日	・【5年】情報化した社会と産業の発展（社会）B (2)	津波、建物の火災			・【5年】コースチャぼうやを救えE (3)	
12	全校一斉 防災学習授業日 避難訓練（業間）	・【6年】震災復興の願いを実現する政治（社会）A (4)		・未来へつなぐ☆F (2) (4)	・冬休みの生活D (1) (2)		
1	1 7 日 防災とボランティアの日	・【5年】自然災害によるけがの防止（発展）D (1)		・復興のためにできることD (2)		・【6年】東京大空襲の中でE (3) ・【5年】一本松は語ったE (3)	
2		・【5年】わたしたちの生活と環境（社会）☆A (1)				・【6年】小さな連絡船「ひまわり」F (1) (3)	
3	1 1 日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④	・【6年】共に生きる地域での生活 ・持続可能な社会を生きる（家庭）☆B (4)		・仙台の自然災害年表・復興年表☆			

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

津波による災害等が想定される地域の 中学校 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活	道徳科		
4	避難経路確認 合宿	・集団訓練（保体） B (1) ・情報の信頼性（技術） B (2)		・避難方法と避難経路の確認 C (1)	大地震 大津波	・花と緑で人々に 笑顔を☆F (3)	
5	学校防災の日①（避難訓練） 故郷復興プロジェクト① （あいさつ）	・応急処置の方法（保体）☆B (3) ・あの日を忘れない（美術）F(1)	大地震、大津波	・避難訓練 ・消防士からの講話C (1)D	・地域あいさつと小中合同 ゴミ拾い活動 E (4)	・【3年】くちびるに歌をもてE (3)	
6	12日 みやぎ県民防災の日 中総体	・身近な地域の歴史（社会）C (2) ・心肺蘇生方法（保体）☆B (3) ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう（国語）B (2)		・災害発生時の対応B (1) D	★自然災害に備えよう☆A (2) (3)		
7	合唱コンクール 故郷復興プロジェクト② （星に願いを）	・AEDの使い方☆ （保体）B (3)	大地震、大津波、大雨、 増水、河川洪水、浸水、 落雷、暴風、液状化 等	★災害心理と正しい情報の 入手☆B (2)	・地域あいさつ運動と小中合同 ゴミ拾い活動E (4)	・【3年】一冊の 漫画雑誌E (2)	
8	リーダー研修会 （小・中合同） ※地域の行事への参加			・リーダー研修会☆D			
9	1日 防災の日 文化祭 地域合同防災訓練 （地域・保護者・小学校）	・着衣泳（保体）B (1)	・モザイクアート づくりF (1)	・防災基礎知識講座（小学生、 地域）D	★避難所開設の時、私たちに できること☆F (3)	・心に寄り添う ☆E (4)	
10	学校防災の日② （引き渡し訓練） 学区民運動会 避難訓練（火災）	・古典に残る災害を読んでみよう☆ A (3) ・地方自治と私たち（社会）☆A (4)		・防災マップづくり （地域）C (1) (2)	・避難訓練の意義☆C (1) ・引き渡し訓練C (1)	・地域あいさつ運動と小中合同 ゴミ拾い活動E (4)	
11	5日 世界津波の日 地域クリーン作戦 （地域） 故郷復興プロジェクト③	建物の火災	・メモリアル館訪問C (2)	・マップ作成のための 地域歩きC (2)	・巨大壁画づくりE (2)	・地域クリーン作戦、 地域あいさつ運動 F (3)	・【2年】田老の生徒が 伝えたものE (1)
12	学校防災の日③ （考動議会）		・考動議会（縦割り活動）D ・防災マップ調査結果発表会D F (2)				・【2年】震災の中で F (3)
1	17日 防災とボランティアの日 ・復興展 （地域・保護者）	・大地の変化（理科）A (2)(3)B(4) ・快適な住まい方（家庭）☆C(1)	大地震、大津波、 液状化	・災害時の安全な行動についてC (1)	★「復興への歩み」を語り 継ごう☆ E (4)	・一歩一歩力強く語り部として ☆F (2)	
2	・地域向け復興展（地域・保護者）	・心身の機能の発達と心の健康（保体）☆B (1)			★自分を守る☆D		
3	11日 みやぎ鎮魂の日 学校防災の日④ （震災セレモニー） 故郷復興プロジェクト④		★震災を語り継ごう☆F (2)	・巨大壁画披露F (2)	・地域あいさつ運動、小中合同 ゴミ拾い運動 E (4)		

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

建物の倒壊による災害等が想定される地域の 小学校低学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	生 活	特 活	道徳科		
4	交通安全教室 避難訓練（避難経路 確認）		・【1年】学校 をたんけんし ようE(4)	・登下校の安全D(1) ・避難経路の 確認D(1) ・非常時下校 体制の確認C (1)		建物の倒壊 道路の寸断 倒木	
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練		・【2年】まち たんけんC (2)	・あの日3.11 ☆A(3)		・家族とのさい会☆ E(3)	
6	12日 宮城県民防災の日 避難訓練		大地震、建物の倒壊 道路の寸断、倒木	★じしんがお こったらどう するの☆B (1)		・ながいながいつう がくるE(3)	
7	故郷復興プロジェクト② 引き渡し訓練	・水遊び、着衣水泳 (体育) B(1) ・家のまわり学校の まわり☆D(1)	大雨、増水、河川洪水、浸水、 落雷、暴風、地震、津波		・夏休みの 生活B(1)		
8	(地域行事への参加)						
9	1日 防災の日 校外学習		大雨、洪水、河川氾濫、 浸水、地震、津波、	・ぼうさいリ ュックを用い しよう☆C (1)		・動物たちのいのち ☆E(3)	
10	地域合同防災訓練		大地震、大津波	・ぼうさいく んれんにさん かしよう ☆B(1)C (1)		・【2年】いまぼく にできることE (2)・F(1)	
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③		・ふっこうを めざして☆ A(4)	・つなみにつ いてしろう☆ A(1)(2)		・【2年】じぶんが しんごうきE(2)	
12	避難訓練（火災） 集団下校訓練	火災		・ひなんの仕 方を考えよう ☆B(1)(2)	・冬休みの 生活 B(1)	・【1年】おうだん ほどうでE(2)	
1	17日 防災とボランティアの日		建物の倒壊 道路の寸断 倒木		・きぼうの 光☆A(3) (4)		
2					★ふるさと を元気に☆ A(1)F(3)	・【1年】いのちが あつてよかったE (3)	
3	11日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④			・ぼうさい知 しきをチェッ クしよう☆C (1)			

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

建物の倒壊による災害等が想定される地域の 小学校中学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合		特 活	道徳科	
			大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断	大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断			
4	春の交通安全	・【3年】学校のまわり(社会) C (2)	大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断	大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断	・避難経路の確認、登下校の安全 B (1)		
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練 家庭訪問	・【3年】市の様子(社会) D (1) ・【4年】住みよいくらしをつくる(社会) B (4)	大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断	大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断	・避難の仕方を考えよう B (1) ☆ 交通網のまひ		・考えよう 友達たちのこと ☆ E (2)
6	1 2 日 宮城県民防災の日 避難訓練 引き渡し訓練	・【4年】雨水のゆくと地面のようす(理科) A (1) ・地しんについて知ろう ☆ A (1) (2)	・防災マップづくり 大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断	・防災マップづくり 大 地 震、 建 物 の 倒 壊 道 路 の 遮 断	・避難訓練事後指導 ・災害が起きたら ☆ B (1)		・希望の詩～「ない」～ ☆ F (2)
7	故郷復興プロジェクト② 交通安全教室	・【3年】風やゴムで動かそう(理科) A (1) ・浮く・泳ぐ運動(体育) B (1)	津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断・倒木	津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断・倒木	★歌い継ごう～「復興ソング」 ☆ F (2)	・夏休みの過ごし方 D (1) (2)	・【4年】「もっこ」をせおって F (1) ・大切なこと ☆ E (2)
8	(地域行事への参加)					・地域行事への参加	
9	1 日 防災の日 避難訓練(不審者)	・着衣水泳(体育) B (1) ・いろいろなきがいについて知ろう ☆ A (1) (2)	津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断・倒木	津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断・倒木	・自分で決める ☆ ★「台風・大雨の災害から命を守る」 ☆ D (2)		・【3年】一さつのおくりもの E (2)
10	中学校区合同防災訓練		★命を守る非常食 ☆ C (1) (2)	★命を守る非常食 ☆ C (1) (2)	・家族ぼうさい会ぎをひらこう ☆ C (1)		・【4年】ふるさとを守った大イチョウ E (3)
11	5 日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③	・【4年】自然災害からくらしを守る(社会) A (4)			・せかいとのつながり ☆		・【3年】教えて! なんでもそうだん室 F (1)
12	避難訓練(火災) 集団下校訓練	・けがをしたときは ☆ B (3)		津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断 倒木	・避難訓練事後指導	・冬休みの過ごし方 D (1) (2)	
1	1 7 日 防災とボランティアの日		・たぐさのおうえん ☆	津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断 倒木			
2		・【3年】市のうっかりかわり(社会) A (3)		津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断 倒木	・ぼうさい知しきをチェックしよう ☆	・つたえようわたしたちのことばで ☆	・【3年】おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね E (3) ・【4年】ポロといっしょ E (2)
3	1 1 日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④	・【4年】特色ある地いきと人々のくらし(社会) A (4)		津波、大雨、増水、河川洪水、浸水、落雷、暴風 建物の倒壊 道路の遮断 倒木	・仙台のさいがい年びょう・ふっこう年びょう ☆		・【4年】点字メニューにちょうせん F (1)

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

建物の倒壊による災害等が想定される地域の 小学校高学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活	道徳科		
4	避難訓練（地震） 交通教室 たてわり校外活動 春の交通安全	・【6年】物の燃え方 と空気（理科）A(1)	火災	大地震、建物の倒壊、道路の遮断	・避難経路の確認、登下校の安全B(1)	・高学年としてE(4)	・【6年】うちらねこの手ボランティアF(1)
5	家庭訪問 引き渡し訓練 故郷復興プロジェクト①			・東日本大震災から学ぶ☆ D(1)(2)	・非常時下校体制の確認、 ★大災害に備えよう☆B(1)	・地域の一員として☆ F(3)	大地震
6	12日 宮城県民防災の日 全校一斉 防災学習授業日	・【6年】書き手の意図を考えよう「新聞記事を読み比べよう」(国語) F(2)		交通網のまひ	・地震に備えてC(1)	・家族防災会議を開こう☆C(1) ・落ち着いた行動を☆ E(1)	・【6年】土石流の中で救われた命E(2)
7	故郷復興プロジェクト② PTA等との地区 巡視	・着衣水泳（体育） B(1) ・「希望の道」合唱 F(2)			・夏休みを有意義にF(3)	・地域のリーダーとしてF(3)	
8	(地域行事への参加)	大雨、増水、河川洪水、落雷、暴風、道路の遮断、倒木					
9	野外活動 1日 防災の日	・【5年】台風と天気の変化(理科) A(2) ★防災人としての知恵(体育)～けがの手当～☆B(3)					・一番大切なことは☆ F(3)
10	大雨、増水、河川洪水 大地震、液状化	・【5年】流れる水のはたらき(理科) A(1)(2) ・【6年】大地のつくりと変化(理科) ☆ A(2) E(3)					・【6年】わたしのボランティア体験F(1)(3)
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③ 避難訓練（火事）	・【5年】情報化した社会と産業の発展(社会) B(2)	建物の火災				・【5年】コースチャぼうやを救えE(3)
12	全校一斉 防災学習授業日 避難訓練（業間）	・【6年】震災復興の願いを実現する政治(社会) A(4)		★語り継ごう！東日本大震災☆F(2) ※震災遺構活用	・家族とのつながり☆ C(1)	・冬休みの過ごし方 D(1)(2)	
1	17日 防災とボランティアの日	・【5年】自然災害によるけがの防止(発展) D(1)			・異学年と交流しよう E(2)		・【6年】東京大空襲の中でE(3) ・【5年】一本松は語ったE(3)
2	11日 みやぎ鎮魂の日	・【5年】わたしたちの生活と環境(社会) ☆ A(1)					・【6年】小さな連絡船「ひまわり」F(1)(3)
3	故郷復興プロジェクト④	・【6年】共に生きる地域での生活 ・持続可能な社会を生きる(家庭) ☆ B(4)		・東日本大震災から学ぶ☆ F(1)(3)			

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

建物の倒壊による災害等が想定される地域の 中学校 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活	道徳科		
4	安全な登下校 避難経路の確認	・集団訓練（保体） B (1)	大地震、建物の倒壊、道路の遮断 大地震、交通網のまひ	・避難方法と避難経路の確認 C (1)		・一歩一歩力強く語り部として ☆E (1)	
5	集団下校の確認 引き渡し訓練 故郷復興プロジェクト①	・情報の信頼性（技術）B (2) ・応急処置の方法（保体）☆B (3) ・あの日を忘れない（美術）F(1)			・引き渡し訓練 C (1)		★自然災害に備えよう☆A (2) (3)
6	12日 みやぎ県民防災の日 中総体 地域合同防災訓練 （地域・保護者・小学校）	・身近な地域の歴史（社会）C (2) ・心肺蘇生方法（保体）☆B (3) ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう（国語）B (2)	・めざせエコ生活 C (1) (2)	・災害発生時の対応☆ B (1)D ・防災クロスロードゲーム D		★避難所開設の時、私たちにできること ☆F (3) ・一冊の漫画雑誌 F (1)	
7	合唱コンクール 故郷復興プロジェクト②	・AEDの使い方 ☆（保体）B (3)		・夏季休業中の生活 D			
8	※地域の行事への参加		大雨、増水、河川洪水、落雷、暴風、道路の遮断、倒木				
9	1日 防災の日 学習発表会	・着衣泳（保体） B (1)		・災害発生時の対応☆ B (1)D		・【2年】田老の生徒が伝えたもの F (1)	
10	球技大会 避難訓練（火災） 建物の火災	・古典に残る災害を読んでみよう☆A (3) ・地方自治と私たち（社会）☆A(4)		・ボランティアで心の輪を広げよう F (1) (3)	・避難訓練の意義☆C (1)	・【2年】震災の中で F (3)	
11	5日 世界津波の日 地域落ち葉拾い（地域） 故郷復興プロジェクト③	・住まいの安全対策、災害への備え（技・家）☆C (1)			★災害心理と正しい情報の入手☆B (2)	・地域落ち葉拾い作戦、あいさつ運動 F (3)	・心に寄り添う ☆E (4)
12				・冬季休業中の生活 D		・1.17から3.11へ☆ E (4)	
1	17日 防災とボランティアの日	・大地の変化(理科)A (2)(3)B(4) ・ひと目で伝えるための工夫(美術)F(1)	大地震、液状化	・災害時の安全な行動について C (1)		★「復興への歩み」を語り継ごう☆ E (4) ・ともに育つ☆ F (3)	
2		・資料の整理、確立（数学）A (1) (2)				★自分を守る☆D	
3	11日 みやぎ鎮魂の日 東日本大震災追悼行事 故郷復興プロジェクト④		★震災を語り継ごう☆F (2)	・春季休業中の生活 D	・震災の教訓 F (2)	・約束☆F (4)	

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

土砂災害等が想定される地域の 小学校低学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	生 活	特 活	道徳科		
4	交通安全教室 避難訓練（避難経路 確認）		・【1年】学校 をたんけんし よう E (4)		・登下校の安全D (1) ・避難経路の 確認D (1) ・非常時下校 体制の確認C (1)		大地震 土砂災害
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練		・【2年】まち たんけんE (2)		・あの日 3.11 ☆A (3)		・家族とのさい 会☆E (3)
6	1 2 日 宮城県民防災の日 避難訓練				★じしんがお こったらどう するの☆B (1)		・ながいなが いながくるE (3)
7	故郷復興プロジェクト② 引き渡し訓練		・水遊び, 着衣水泳 (体育) B (1) ・家のまわり学校の まわり☆D (1)		大雨, 増水, 河川洪水, 浸水, 落雷, 暴風, 地震, 土砂災害		・夏休みの 生活B (1)
8	(地域行事への参加)						
9	1 日防災の日 校外学習（動物園）				・ぼうさいリ ュックを用い しよう☆C (1)		・動物たちのい のち☆E (3)
10	地域合同防災訓練				・ぼうさいく んれんにさ んかしよう ☆B (1)・C (1)		・【2年】いま ぼくにできる ことE (2)・F (1)
11	5 日世界津波の日 故郷復興プロジェクト③		・ふっこうを めざして ☆A (4)		・つなみにつ いてしろ☆ A (1) (2)		・【2年】じぶ んがしんごう きE (2)
12	避難訓練（火災） 集団下校訓練				・ひなんの仕 方を考えよう ☆B (1) (2)		・【1年】おう だんはどうで E (2)
1	1 7 日 防災とボランティアの日						・冬休みの 生活B (1)
2							・きぼうの 光☆A (3) (4)
3	1 1 日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④				・ぼうさい知 しきをチェッ クしよう☆C (1)		★ふるさと を元気に☆ A (1) F (3)
							・【1年】いの ちがあつてよ かったE (3)

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

土砂災害等が想定される地域の 小学校中学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活		道徳科	
4	春の交通安全	・【3年】学校のまわり(社会)C(2)	大地震, 土砂災害	・避難経路の確認, 登下校の安全 B(1)			
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練 家庭訪問	・【3年】市の様子(社会)D(1) ・【4年】住みよいくらしをつくる(社会)B(4)	大地震, 土砂災害	・避難の仕方を考えようB(1)☆			・考えよう 友達たちのこと☆E(2)
6	12日 宮城県民防災の日 避難訓練 引き渡し訓練	・【4年】雨水のゆくえと地面のようす(理科)A(1) ・地しんについて知ろう☆A(1)(2)	・防災マップづくり 大地震, 土砂災害	・避難訓練事後指導 ・災害が起きたら☆B(1)			・希望の詩～「ない」～☆F(2)
7	故郷復興プロジェクト② 交通安全教室	・【3年】風やゴムで動かそう(理科)A(1)・浮く・泳ぐ運動(体育)B(1)		★歌い継ごう～「復興ソング」☆F(2)		・夏休みの過ごし方D(1)(2)	・【4年】「もっこ」をせおってF(1) ・大切なこと☆E(2)
8	(地域行事への参加)		津波, 大雨, 増水, 河川			・地域行事への参加	
9	1日 防災の日 避難訓練(不審者)	・着衣水泳(体育)B(1) ・いろいろなさいがいについて知ろう☆A(1)(2)	洪水, 浸水, 落雷, 暴風 土砂災害	・自分で決める☆ ★「台風・大雨の災害から命を守る」☆D(2)			・【3年】一さつのおくりものE(2)
10	中学校区合同防災訓練		★命を守る 非常食☆C(1)(2)	・家族ぼうさい会ぎをひらこう☆C(1)			・【4年】ふるさとを守った大イチョウE(3)
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③	・【4年】自然災害からくらしを守る(社会)A(4)		・せかいとのつながり☆			・【3年】教えて!なんでもそうだん室F(1)
12	避難訓練(火災) 集団下校訓練	・けがをしたときは☆B(3)	津波, 大雨, 増水, 河川	・避難訓練事後指導		・冬休みの過ごし方D(1)(2)	
1	17日 防災とボランティアの日		・たくさんのおうえん☆				
2		・【3年】市のうっぴりかわり(社会)A(3)	洪水, 浸水, 落雷, 暴風 土砂災害	・ぼうさい知しきをチェックしよう☆		・つたえようわたしたちのことばで☆	・【3年】おじいちゃん, おばあちゃん, 見ていてねE(3) ・【4年】ポロといっしょE(2)
3	11日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④	・【4年】特色ある地いきと人々のくらし(社会)A(4)		・仙台のさいがい年びょう・ふっこう年びょう☆			・【4年】点字メニューにちようせんF(1)

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

土砂災害等が想定される地域の 小学校高学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・地域 関連行事等	教 科	総 合	特 活	道徳科		
4	登下校指導 避難訓練（地震） 春の交通安全	・【6年】物の燃え方 と空気（理科）A（1）	火災	大地震 ・避難経路の 確認，登下校 の安全B（1）	・気持ちの よいあいさ E（4） ・歩み出す 力強く☆E （1）	・【6年】うちらねこの 手ボランティアF（1）	
5	家庭訪問 故郷復興プロジェクト①		・地域の宝物 ☆D（1）（2）	・災害時をく らすヒント☆ C（1）	・地域の一 員として☆ F（3）		
6	全校一斉防災学習 避難訓練，引き渡し 訓練 1 2日 宮城県民防災の日	・【6年】書き手の意 図を考えよう「新聞 記事を読み比べよ う」（国語）F（2）		大地震 非常時下校体 制の確認， ★大災害に備 えよう☆B （1）	・家族防災 会議を開こう☆ C（1） ・落ち着いた 行動を☆ E（1）	・【6年】土石流の中で 救われた命E（2）	
7	故郷復興プロジェクト② 野外活動 P T A等との地区 巡視	・着衣水泳（体育）B （1） ★防災人としての 知恵（体育）～けが の手当～☆B（3） ・「希望の道」合唱 F（2）	大雨，増水 河川洪水 落雷，暴風 倒木	・夏休みの過 ごし方F（3）	・地域のリ ーダーとし てF（3）		
8	（地域行事への参加）						
9	1日 防災の日	・【5年】台風と天気 の変化（理科）A（2）				・一番大切なことは☆ F（3）	
10	大地震，土砂災害	・【5年】流れる水の はたらき（理科）A （1）（2） ・【6年】大地のつく りや変化（理科）☆ A（2）E（3）	河川洪水 土砂災害	★語り継ご う！東日本大 震災☆F（2） ※震災遺構活 用		・【5年】わたしのボラ ンティア体験F（1）（3）	
11	5日世界津波の日 故郷復興プロジェクト③ 避難訓練（火事）	・【5年】情報化した 社会と産業の発展 （社会）B（2）	森林火災	・地域の宝物 ☆F（2）（3）	・立ち上が れ！ぼくらの 復興プロジェ クト☆F（1）	・【5年】コースチャぼ うやを救えE（3）	
12	全校一斉 防災学習授業日 避難訓練（業間）	・【6年】震災復興の 願いを実現する政 治（社会）A（4）		・家族とのつ ながり☆ C（1）	・冬休みの 過ごし方 D（1）（2）		
1	17日 防災とボランティアの日	・【5年】・自然災害 によるけがの防止 （発展）D（1）			大雪，なだれ	・【6年】東京大空襲の 中でE（3） ・【5年】一本松は語っ たE（3）	
2	11日 みやぎ鎮魂の日	・【5年】わたしたち の生活と環境（社 会）☆A（1）				・【6年】小さな連絡船 「ひまわり」F（1）（3）	
3	故郷復興プロジェクト④	・【6年】共に生きる 地域での生活 ・持続可能な社会を 生きる（家庭）☆B （4）		・東日本大震 災から学ぶ☆ F（1）（3）			

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

土砂災害等が想定される地域の 中学校 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活		道徳科	
	4	安全な登下校 避難経路の確認	・集団訓練（保体） B (1) ・情報の信頼性（技術） B (2)	大地震、大 雨、増水、 河川洪水、 落雷、暴風、 倒木	大地震	・避難方法と避難経路の確認 C (1)	
5	避難訓練（予告無） 故郷復興プロジェクト① （あいさつ）	・応急処置の方法 （保体）☆B (3) ・エネルギー変換に 関する技術（技・家） A (2) ・あの日を忘れない （美術）F(1)		・地域防災マ ップをつくら うC (1) (2)	・避難訓練☆D	・地域清掃ボ ランティアで F (3)	・ともに育つ☆ F (3)
6	12日 みやぎ県民防災の日 中総体 地域合同防災訓練 （地域・保護者・小学校）	・身近な地域の歴史 （社会）C (2) ・心肺蘇生方法（保 体）☆B (3) ・メディアの特徴を生 かして情報を集め よう（国語）B (2)	・過去の災害か ら学ぶD	・災害時に 中学生がで きることF (3)	・災害発生時 の対応☆B (1) D ・引き渡し訓 練C (1)	★避難所開設 の時、私たち にできること ☆F (3)	・【3年】一冊の 漫画雑誌E (2)
7	合唱コンクール 故郷復興プロジェクト②	・AEDの使い方 ☆（保体）B (3)	・被災地から学ぶ （南三陸町）C (1) (2) D		・災害時の安 全な行動D ・危険箇所調 べD ・夏季休業中 の生活D		
8	※地域の行事への参加						
9	1日 防災の日 文化祭	・着衣水泳（保体） B (1)			・防災基礎知 識講座（小学 生、地域）D	★自然災害に 備えよう☆A (2) (3)	・心に寄り添う ☆E (4)
10	避難訓練（火災） 建物の火災、 森林火災	・地方自治と私たち （社会）☆A (4) ・九州地方～火山災 害、土砂災害～（社 会）A (1) (3) ・古典に残る災害を 読んでみよう☆ A (3)	大地震、土砂 災害	・災害時に 中学生がで きることF (3)	・避難訓練の ☆D		・【2年】田老の 生徒が伝えたも のE (1)
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③	・近畿地方～震災を 乗り越えて～（社会） A (4)	大雨、大雪、なだれ、 降ひょう、落雷、 暴風		★災害心理と 正しい情報の 入手☆B (2)	・地域清掃ボ ランティアで F (3)	・【2年】震災の 中でF (3)
12		・天気とその変化（理 科）☆A(2)			・冬季休業中 の生活D		
1	17日 防災とボラン ティアの日	・大地の変化（理科） ☆A(2)(3)B(4) ・ひと目で伝えるた めの工夫（美術）F(1)	大地震、土砂災害		・災害時の安 全な行動につ いてC (1)	★「復興への 歩み」を語り 継ごう☆ E (4)	・一歩一歩力強 く語り部として ☆F (2)
2		・心身の機能の発達 と心の健康（保体） ☆B (1)				★自分を守 るD	
3	11日みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④		★震災を語り継 ごうF (2)		・3.11に思 うこと ・春季休業中 の生活D	・地域あいさ つ運動、小中 合同ゴミ拾 い運動E (4)	・約束☆F (4)

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

洪水による災害等が想定される地域の 小学校低学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	生 活	特 活	道徳科		
4	交通安全教室 避難訓練（避難経路 確認）		・【1年】学校 をたんけんし ようE(4)	・登下校の安全D(1) ・避難経路の 確認D(1) ・非常時下校 体制の確認C (1)			浸水予想域、 河川洪水
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練		・【2年】まち たんけんC (2)	あの日3.11 ☆A(3)			・家族とのさい 会☆E(3)
6	12日 宮城県民防災の日 避難訓練		地震、津波 (河川氾濫、浸水)	★じしんがお こったらどう するの☆B (1)			・ながいながい つうがくろE (3)
7	故郷復興プロジェクト② 引き渡し訓練	・水遊び、着衣水泳 (体育) B(1) ・家のまわり学校の まわり☆D(1)	大雨、増水、河川洪水、浸水、 落雷、暴風、地震、津波			・夏休みの 生活B(1)	
8	(地域行事への参加)						
9	1日 防災の日 校外学習			・ぼうさいリ ュックを用い しよう☆C (1)			・動物たちのい のち☆E(3)
10	地域合同防災訓練		大雨、洪水、河 川氾濫、浸水、 地震、津波	・ぼうさいく んれんにさ んかしよう ☆B(1)C (1)			・【2年】いま ぼくにできる ことE(2)・F (1)
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③		・ふっこうを めざして☆ A(4)	・つなみにつ いてしろう☆ A(1)(2)			・【2年】じぶ んがしんごう きE(2)
12	避難訓練（火災） 集団下校訓練	火災	大地震、大津波	・ひなんの仕 方を考えよう ☆B(1)(2)		・冬休みの 生活B(1)	・【1年】おう だんはどうで E(2)
1	17日 防災とボランティアの日					・きぼうの 光☆A(3) (4)	
2						★ふるさと を元気に☆ A(1)F(3)	・【1年】いの ちがあつてよ かったE(3)
3	11日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④			・ぼうさい知 しきをチェッ クしよう☆C (1)			

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

洪水による災害等が想定される地域の 小学校中学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活		道徳科	
4	春の交通安全	・【3年】学校のまわり（社会）C(2)	大雨, 浸水	・避難経路の確認, 登下校の安全 B(1)			
5	故郷復興プロジェクト① 集団下校訓練 家庭訪問	・【3年】市の様子（社会）D(1) ・【4年】住みよいくらしをつくる（社会）B(4)	大雨, 洪水, 浸水	・避難の仕方を考えよう☆B(1)			・考えよう 友達たちのこと☆E(2)
6	12日 宮城県民防災の日 避難訓練 引き渡し訓練	・【4年】雨水のゆくと地面のようす（理科）A(1) ・地しんについて知ろう☆A(1)(2)	・防災マップづくり 大地震, 津波	・避難訓練事後指導 ・災害が起きたら☆B(1)			・希望の詩～「ない」～☆F(2)
7	故郷復興プロジェクト② 交通安全教室	・【3年】風やゴムで動かそう（理科）A(1) ・浮く・泳ぐ運動（体育）B(1)	津波, 大雨, 増水, 河川 洪水, 浸水, 落雷, 暴風	★歌い継ごう～「復興ソング」☆F(2)		・夏休みの過ごし方D(1)(2)	・【4年】「もっこ」をせおってF(1) ・大切なこと☆E(2)
8	(地域行事への参加)					・地域行事への参加	
9	1日 防災の日 避難訓練（不審者）	・着衣水泳（体育）B(1) ・いろいろなさいがいについて知ろう☆A(1)(2)		・自分で決める☆ ★「台風・大雨の災害から命を守る」☆D(2)			・【3年】一さつのおくりものE(2)
10	中学校区合同防災訓練		★命を守る非常食☆C(1)(2)	・家族ぼうさい会ぎをひらこう☆C(1)			・【4年】ふるさとを守った大イチョウE(3)
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③	・【4年】自然災害からくらしを守る（社会）A(4)		・せかいとのつながり☆			・【3年】教えて！なんでもそうだん室F(1)
12	避難訓練（火災） 集団下校訓練	・けがをしたときは☆B(3)		津波, 大雨, 増水, 河川 洪水, 浸水, 落雷, 暴風	・避難訓練事後指導	・冬休みの過ごし方D(1)(2)	
1	17日 防災とボランティアの日		・たくさんのおうえん☆				
2		・【3年】市のうつりかわり（社会）A(3)			・ぼうさい知しきをチェックしよう☆	・つたえようわたしたちのことばで☆	・【3年】おじいちゃん, おばあちゃん, 見ていてねE(3) ・【4年】ポロといっしょE(2)
3	11日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④	・【4年】特色ある地いきと人々のくらし（社会）A(4)			・仙台のさいがい年びょう・ふっこう年びょう☆		・【4年】点字メニューにちょうせんF(1)

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

洪水による災害等が想定される地域の 小学校高学年 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容例		防災や災害に関する 周辺の・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活	道徳科		
4	避難訓練（地震） 春の交通安全	・【6年】物の燃え方と空気（理科）A（1）	火災	・避難経路の確認、登下校の安全B（1）	大雨 洪水 浸水	・【6年】うちらねこの手ボランティアF（1）	
5	故郷復興プロジェクト① 引き渡し訓練 家庭訪問		大雨、洪水、浸水	・非常時下校体制の確認 ★大災害に備えよう☆B（1）	・大きな災害と人間の心の動き☆E（4）		
6	12日 宮城県民防災の日 全校一斉防災学習 野外活動	★防災人としての知恵（体育）～けがの手当～☆B（3）		★語り継ごう！東日本大震災☆F（2） ※震災遺構活用	大雨 洪水 浸水	・家族防災会議を開こう☆C（1）	・【6年】土石流の中で救われた命E（2）
7	故郷復興プロジェクト② PTA等との地区 巡視	・着衣水泳（体育）B（1） ・「希望の道」合唱F（2）		・チャレンジ子供防災モニター☆D（1）	・わが家の防災カードの記入C（1）	・夏休みの生活D（1）（2）	
8	（地域行事への参加）		大雨、増水、河川洪水 浸水、落雷、暴風				
9	1日 防災の日	・【5年】台風と天気の変化（理科）A（2）	大雨 増水 河川洪水	・地震を乗り越えようとした先人の知恵☆F（2）			・一番大切なことは☆F（3）
10	大地震、大津波 液状化	・【5年】流れる水のはたらき（理科）A（1）（2） ・【6年】大地のつくりと変化（理科）☆A（2）E（3）		・「復興のために何ができるか考えよう」E（4） F（1）（3）			・【5年】わたしのボランティア体験F（1）（3）
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③ 避難訓練（火災） 津波、建物の火災	・【5年】情報化した社会と産業の発展（社会）B（2）					・【5年】コースチャぼうやを救えE（3）
12	全校一斉 防災学習授業日 避難訓練（業間）	・【6年】震災復興の願いを実現する政治（社会）A（4）			・未来へつなぐ☆F（2）（4）	・冬休みの生活D（1）（2）	
1	17日 防災とボランティアの日	・【5年】自然災害によるけがの防止（発展）D（1）		・復興のためにできることD（2）			・【6年】東京大空襲の中でE（3） ・【5年】一本松は語ったE（3）
2		・【5年】わたしたちの生活と環境（社会）☆A（1）					・【6年】小さな連絡船「ひまわり」F（1）（3）
3	11日 みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④	・【6年】共に生きる地域での生活 ・持続可能な社会を生きる（家庭）☆B（4）			・仙台の自然災害年表・復興年表☆		

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

洪水による災害等が想定される地域の 中学校 年間指導計画モデル

防災対応力の構成要素		知 識		技 能		態 度	
学習内容		防災や災害に関する 周知的・基礎的な内容		防災や災害に関する 直接的な内容		防災や災害に関する 間接的な内容	
月	教科・領域 関連行事等	教 科	総 合	特 活		道徳科	
4	安全な登下校 避難経路の確認 地区生徒会 春の交通安全	・集団訓練(保体) B (1) ・情報の信頼性(技術) B (2) ・様々な自然災害(社会) A (1)	学区内の自然環境、 地理に応じて 大地震、 大雨、増水、 河川洪水、 落雷、暴風、 倒木	・避難方法と避難経路の確認 C (1) ・学区内安全マップ確認 C (2)	・家庭のできる災害への備え①☆C(1) ★自然災害に備えよう A (2) (3)	・花と緑で人々に笑顔を☆F (1)	
5	故郷復興プロジェクト① (あいさつ運動)	・応急処置の方法(保体)☆B (3) ・エネルギー変換に関する技術(技・家) A (2) ・復興ソング(音楽)☆F (2) ・あの日を忘れない(美術) F (1)	・地域防災マップをつくらう C (1) ・地域の浸水域を確認しよう A (3)	・避難訓練☆D 大雨、増水、河川洪水、 津波の範囲を想定して	・地域清掃ボランティア F (3)	・ともに育つ F (3)	
6	12日 みやぎ県民防災の日 中総体 地域合同防災訓練	・身近な地域の歴史(社会) C (2) ・心肺蘇生方法(保体)☆B (3) ・水中歩行体験(保体) D (1) ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう(国語) B (2)	・過去の災害から学ぶ D	・災害時に中学生ができること F (3)	・災害発生時の対応☆B (1) D ・引き渡し訓練 C (1)	★避難所開設の時、私たちにできること☆F (3) ・【3年】一冊の漫画雑誌 E (2)	
7	合唱コンクール 故郷復興プロジェクト②	・AEDの使い方☆(保体) B (3)	・被災地から学ぶ(沿岸部) C (1) (2) D	・災害時の安全な行動 D ・危険箇所調べ D ・夏季休業中の生活 D	夏季休業中に(家庭のできる災害への備え②)☆B (1)		
8	※地域行事への参加						
9	1日 防災の日 文化祭	・着衣水泳(保体) B (1)		・防災基礎知識講座(小学生、地域) D		・心に寄り添う☆E (4)	
10	建物の火災、 森林火災 学校林の火災 避難訓練(火災) オーケストラ鑑賞会	・古典に残る災害を読んでみよう☆A (3) ・地方自治と私たち(社会)☆A (4) ・九州地方～火山・土砂災害～(社会) A (1) (3) ・復興ソング(音楽)☆F (2)	大地震、土砂災害、 火山噴火	・災害時に中学生ができること F (3)	・避難訓練の☆D	・【2年】田老の生徒が伝えたもの E (1)	
11	5日 世界津波の日 故郷復興プロジェクト③	・近畿地方～震災を乗り越えて～(社会) A (4)	大雨、大雪、なだれ、 降ひょう、落雷、 暴風	★災害心理と正しい情報の入手☆B (2)	・地域清掃ボランティア F (3)	・【2年】震災の中で F (3)	
12		・天気とその変化(理科)☆A (2)	大地震、土砂災害	・冬季休業中の生活 D	・家庭のできる災害への備え③☆C (1)		
1	17日 防災とボランティアの日	・大地の変化(理科)☆A (2)(3) B (4) ・ひと目で伝えるための工夫(美術) F (1)		・1.17から3.11へ☆F (2) ・災害時の安全な行動について C (1)	★「復興への歩み」を語り継ごう☆E (4)	・一歩一歩強く語り部として☆F (2)	
2		・心身の機能の発達と心の健康(保体)☆B (1)			★自分を守る D		
3	11日みやぎ鎮魂の日 故郷復興プロジェクト④		★震災を語り継ごう F (2)	・3.11に思うこと ・春季休業中の生活 D	・地域あいさつ運動、小中合同ゴミ拾い運動 E (4)	・約束☆F (4)	

★：本ガイドに授業実践例が掲載

☆：仙台版防災教育副読本との関連あり

9 仙台版防災教育 授業の実施手順

ステップ1 対象となる児童生徒の実態を把握する

- 地域の自然環境及び想定される災害等について、十分吟味します。
- 学習課題は、児童生徒の発達段階を考慮し、必然性や必要性のあるものにします。
 - ・例えば、若い兄弟姉妹や高齢者がいる家庭では、非常時の連絡のとり方や防災リュックの中身をどうするかなど、現実に即した対応を考えることが大切です。また、海岸や河川に近い所で暮らす子供たちにとっては、いざというとき、どのようなルートで、どのように避難すべきかを常に意識しておくことや、「てんでんこ」の考え方をどのように具体化するかなども課題となります。
- 児童生徒や保護者等への防災に関するアンケートを実施したり、教師の観察等による資料を蓄積したりして、児童生徒や家庭の実態をより具体的に把握します。
- 各学年の児童生徒の実態等を踏まえ、各学年で身に付けさせたい防災対応力を具体化します。

ステップ2 指導の目標を吟味する

授業を実施するに当たっては、教科等の目標・内容が、直接的に防災教育の内容・目標に関連しているかを確認します。

- 教科等の目標・内容が直接的に防災教育の目標・内容に関連している場合
教科等の目標への到達を目指すことが、防災教育の目標に到達することになります。その際、防災としての目標を明確に意識して授業を行うことが大切です。
- 教科等の目標・内容が直接的に防災教育の目標・内容に関連していない場合
防災教育の目標への到達は間接的なものとなるので、その際には防災教育に関する題材や防災教育の目標に触れる学習の工夫が必要となります。

ステップ3 教材の選択(開発)、指導方法・形態等の検討を行う

- 関連する資料を収集し、学区内を防災の視点で実地調査します。また、専門家に話を伺ったり聞き取り調査を行ったりします。学年内で協力して事前調査を行うことが地域素材の教材化につながります。
- 事前調査の結果を基に、具体的に取り扱う内容を決め、どのような教材(仙台版防災教育副読本などの読み物教材、視聴型の映像教材、スライド教材、疑似体験型教材など)で指導事項を指導することが適切であるか検討します。指導に当たっては、教材の内容や特性、児童生徒の学びの状況等を踏まえ、ICTの効果的な活用を図ります。
- 発達の段階や児童生徒の体験等によっては、直接的に震災等の映像を取り上げず、防災教育に必要な要素として日常から留意させたい題材について重点を置いた教材の活用も検討します。
- 学級を単位として授業を行う場合に加え、学年や全校等での実施、朝や帰りに確保できる時間や、地域と学校間で連携して訓練を行う指導等についても検討しておきます。

ステップ4 指導と評価を行い改善の方向を検討する

- 防災教育は、学校としての一体的な取組が大切です。授業の実施内容や結果について、同一学年の学級間や学校全体で適宜情報を共有し、最新の災害や校内外の状況の変化にも対応していくため、年度途中からでも改善の方向を検討します。
- 1単位時間の授業においては、学習のプロセスをどのように評価するかが大切です。評価の視点や方法を十分検討します。

授業づくりのアドバイス

防災の授業は、主体的な学びの授業をつくることが児童生徒の自助と共助の力を育むことにつながります。

ここでは、児童生徒の学習過程を示しました。

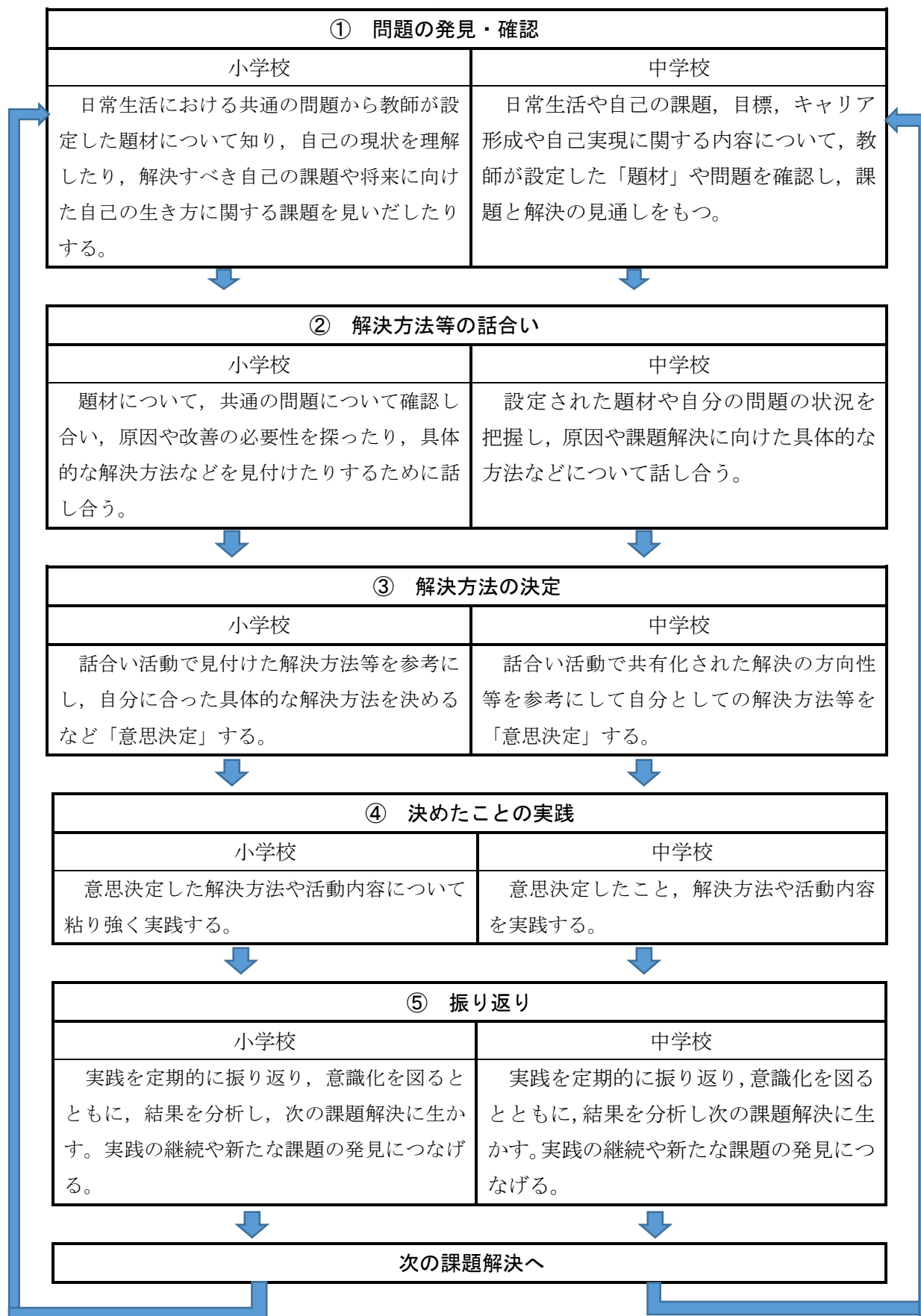
なお、学習評価については、授業に加え、普段の学校の様子や家庭・地域での児童生徒の様子を把握して行うことが大切です。

	主な活動内容
主体的・対話的で深い学び	問題に出会い、課題を設定する <ul style="list-style-type: none">● 地域を取り上げた資料や実生活に関わる問題に出会い、興味・関心を持つ。● 問題場面を自分のこととして捉える。「どうしてだろう」「もっと調べたい」という思いから、追究する学習課題を設定する(課題解決の必然性に気付く)。
	情報を集め、自分の考えを持つ <ul style="list-style-type: none">● 課題解決に対する自分なりの予想を持つ。● 資料・調査・体験などから、課題を解決するための情報を集める。● 情報を整理し、日常生活やこれまでの教科等や防災での学び、体験や知識等を基に、自分や班の考えをまとめる。● 「自分の考えをみんなに伝えたい」という思いを持つ。
	意見を交流し、考えを深める <ul style="list-style-type: none">● 模造紙やGIGA スクール端末等を用いて、意見の交流を行い、互いの考えを可視化し共有する。● 意見の交流で得た様々な見方や考え方を基に、自分の考えを深める。● 意見は発表し合うだけではなく、共感したり疑問を持ったりする。
	解決方法をまとめ、つなげる <ul style="list-style-type: none">● 共有した考えを集約したり精選したりしながらまとめ、よりよいもの(知識)にしていく。● 自己の考えの変容を実感するとともに、これからの自分や集団での生活・行動につなげるための考えを持つ。

参考：学級活動

「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の学習過程（例）

防災教育を学級活動との関連で行う際、次の表のような一連の学習過程が考えられます。



※ 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編（文部科学省）第3章 第1節 学級活動（2） P44参照
 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編（文部科学省）第3章 第1節 学級活動（2） P46参照